



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月28日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平 TEL 03 (6880) 2600
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	3,943	8.3	437	7.1	435	7.5	290	19.9
28年12月期第2四半期	3,642	27.7	408	10.7	405	9.4	242	19.1

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 300百万円 (14.1%) 28年12月期第2四半期 263百万円 (16.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	9.91	-
28年12月期第2四半期	8.28	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第2四半期	5,425	3,723	65.4	120.99
28年12月期	5,355	3,568	63.5	116.09

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 3,546百万円 28年12月期 3,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	-	0.00	-	5.00	5.00
29年12月期	-	0.00	-	-	-
29年12月期(予想)	-	-	-	7.00	7.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	6.2	1,060	4.5	1,060	4.5	670	1.9	22.86

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	30,955,000株	28年12月期	30,955,000株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	1,646,400株	28年12月期	1,654,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	29,307,422株	28年12月期2Q	29,255,000株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与ESOP信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与ESOP信託口）が所有している当社株式（平成29年12月期2Q：96,400株、平成28年12月期：104,600株、平成28年12月期2Q：150,000株）を含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、

売上高	3,943百万円 (前年同期比 8.3%増)
営業利益	437百万円 (前年同期比 7.1%増)
経常利益	435百万円 (前年同期比 7.5%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	290百万円 (前年同期比 19.9%増)

となりました。

当第2四半期連結累計期間はフィールドマーケティング事業が減収となったものの、eセールスマネージャー関連事業がそれを補い、増収となりました。利益面におきましても、増収の結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも増益となりました。

各セグメントの業績については以下の通りです。

1. eセールスマネージャー関連事業

日本国内のソフトウェア投資については回復に向けた足取りがいまだ不透明な環境のなか、当社の主力製品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャーRemix」について、引き続き大型案件の獲得により売上高が増加いたしました。また、営業課題にフォーカスしたコンサルティング、スキルトレーニングなども需要は根強く、堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は2,029百万円(前年同期比27.1%増)、増収効果によりセグメント利益は351百万円(同110.7%増)となりました。

2. フィールドマーケティング事業

当事業におきましては、大型案件の運用が安定したため、更なる成長に向け、これまでの店頭中心から業種や業務の幅を拡大した「フィールド・クラウドソーシング」という新たな事業コンセプトの下、新たな市場創出に向けた動きを開始しました。

当第2四半期連結累計期間は、フィールド活動一括受託などストックビジネスにつきましては安定的に推移しているものの、店頭調査等のスポット案件については前期と比較して減少しており、また、更なる成長に向けて体制強化と新規事業への積極的な投資を進めたことなどにより、売上高は1,555百万円(同7.0%減)、セグメント利益は101百万円(同54.0%減)となりました。

3. システム開発事業

当第2四半期連結累計期間は引き続き既存顧客の深耕と新規顧客の獲得、プロジェクト管理の徹底に努めました。売上につきましては堅調に推移しているものの、人件費の増加に伴う原価率の上昇を背景に収益性は悪化しました。

以上の結果、売上高は232百万円(同0.9%増)、セグメント利益は4百万円(同49.0%減)となりました。

4. 出版事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は125百万円(同11.5%減)、セグメント利益は18百万円の損失(前年同期は13百万円の利益)となりました。書籍販売による売上高の減少に加え、制作コストの上昇に伴う原価率の悪化によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況は、

資 産	5,425百万円 (前連結会計年度末比 1.3%増)
負 債	1,702百万円 (前連結会計年度末比 4.7%減)
純資産	3,723百万円 (前連結会計年度末比 4.3%増)

となりました。当第2四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下の通りです。

<資産>

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し、5,425百万円となりました。主なる要因は、ソフトウェアが68百万円、現金及び預金が9百万円増加したことによるものです。

<負債>

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ84百万円減少し、1,702百万円となりました。主な要因は、前受金が152百万円増加したものの、未払金が47百万円、未払役員賞与が30百万円、長期借入金が28百万円、支払手形及び買掛金が17百万円減少したことによるものです。

<純資産>

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ154百万円増加し、3,723百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を290百万円計上したこと、147百万円の剰余金配当を実施したことによるものです。以上の結果、自己資本比率は、65.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成29年1月30日に公表いたしました平成29年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性がある事をご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,177,101	3,186,325
受取手形及び売掛金	1,329,305	1,290,603
商品及び製品	44,694	45,014
仕掛品	132,069	137,578
繰延税金資産	46,281	41,487
その他	136,985	168,186
貸倒引当金	△8,036	△12,031
流動資産合計	4,858,401	4,857,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	64,092	64,399
減価償却累計額	△46,366	△48,366
建物及び構築物（純額）	17,725	16,032
工具、器具及び備品	265,547	287,287
減価償却累計額	△208,468	△222,188
工具、器具及び備品（純額）	57,078	65,099
その他	2,916	-
有形固定資産合計	77,720	81,132
無形固定資産		
ソフトウェア	322,527	390,681
その他	915	915
無形固定資産合計	323,442	391,596
投資その他の資産		
投資有価証券	2,500	2,500
差入保証金	84,075	82,060
長期滞留債権	45,193	47,727
繰延税金資産	6,009	8,219
その他	3,000	3,000
貸倒引当金	△45,193	△47,727
投資その他の資産合計	95,584	95,780
固定資産合計	496,746	568,508
資産合計	5,355,148	5,425,673

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	285,707	268,020
未払金	349,969	302,590
未払役員賞与	30,082	-
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	56,000	56,000
未払法人税等	152,713	147,346
前受金	354,184	506,355
賞与引当金	47,052	30,800
役員賞与引当金	-	13,370
返品調整引当金	12,489	5,816
株式給付引当金	6,131	-
その他	245,883	147,823
流動負債合計	1,640,213	1,578,123
固定負債		
長期借入金	140,000	112,000
株式給付引当金	-	6,553
その他	6,136	5,432
固定負債合計	146,136	123,985
負債合計	1,786,349	1,702,109
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	367,795	367,795
利益剰余金	2,461,302	2,604,707
自己株式	△253,574	△252,524
株主資本合計	3,401,588	3,546,042
非支配株主持分	167,210	177,521
純資産合計	3,568,798	3,723,564
負債純資産合計	5,355,148	5,425,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,642,297	3,943,100
売上原価	2,357,525	2,446,541
売上総利益	1,284,771	1,496,558
販売費及び一般管理費	876,190	1,059,151
営業利益	408,580	437,407
営業外収益		
受取利息	266	58
違約金収入	-	105
保険解約返戻金	-	181
助成金収入	2,365	-
その他	96	50
営業外収益合計	2,728	395
営業外費用		
支払利息	913	683
為替差損	4,980	1,284
営業外費用合計	5,893	1,968
経常利益	405,415	435,834
特別損失		
固定資産除却損	-	1,238
特別損失合計	-	1,238
税金等調整前四半期純利益	405,415	434,596
法人税、住民税及び事業税	108,012	131,272
法人税等調整額	33,898	2,582
法人税等合計	141,911	133,855
四半期純利益	263,504	300,741
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,257	10,311
親会社株主に帰属する四半期純利益	242,246	290,430

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	263,504	300,741
四半期包括利益	263,504	300,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242,246	290,430
非支配株主に係る四半期包括利益	21,257	10,311

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	405,415	434,596
減価償却費	95,872	100,869
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,832	6,528
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,150	△16,252
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△3,235	△6,673
受取利息及び受取配当金	△266	△58
支払利息	913	683
固定資産除却損	-	1,238
売上債権の増減額(△は増加)	△155,577	38,702
たな卸資産の増減額(△は増加)	△86,265	△5,828
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,024	△17,687
前受金の増減額(△は減少)	88,988	152,171
その他	34,239	△181,282
小計	363,076	507,008
利息及び配当金の受取額	266	58
利息の支払額	△856	△678
法人税等の支払額	△111,841	△152,130
法人税等の還付額	-	10,762
営業活動によるキャッシュ・フロー	250,645	365,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△27,248	△25,084
無形固定資産の取得による支出	△89,867	△158,301
差入保証金の差入による支出	△13,075	△3,912
差入保証金の回収による収入	2,840	5,377
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,350	△181,920
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	1,000
短期借入金の返済による支出	-	△1,000
長期借入金の返済による支出	△28,000	△28,000
配当金の支払額	-	△143,887
その他	△1,227	△704
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,227	△172,591
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,980	△1,284
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	89,086	9,224
現金及び現金同等物の期首残高	2,687,665	3,177,101
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,776,751	3,186,325

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第2四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「返品調整引当金戻入額」は、金額的重要性が乏しくなったため、当第2四半期連結累計期間より「売上原価」に含めて表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「売上原価」に含まれている「返品調整引当金戻入額」の金額は324千円であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	eセールスマネージャー 関連事業	フィールド マーケティング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,596,184	1,673,277	230,496	142,338	3,642,297	-	3,642,297
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	9,303	6,811	28,435	2,055	46,604	△46,604	-
計	1,605,488	1,680,088	258,931	144,393	3,688,902	△46,604	3,642,297
セグメント利益	166,777	220,199	8,101	13,609	408,688	△108	408,580

(注) 1. セグメント利益の調整額△108千円には、固定資産の調整額170千円、棚卸資産の調整額△278千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	eセールスマネージャー 関連事業	フィールド マーケティング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,029,296	1,555,314	232,521	125,968	3,943,100	-	3,943,100
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	13,317	1,645	37,649	-	52,612	△52,612	-
計	2,042,614	1,556,959	270,170	125,968	3,995,713	△52,612	3,943,100
セグメント利益 又は損失(△)	351,322	101,242	4,135	△18,986	437,713	△305	437,407

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△305千円には、固定資産の調整額△98千円、棚卸資産の調整額△207千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。